いわき民報

發行所
いわき民報社
平市田町四八番地電三八一番
編輯兼發行人
兼印刷人 千輝克巳
（但月曜を除く）
定價一ヶ月十五円一部五十錢

眞に嘆きも無理からず
平地方の俸給や勞務者賃金
勞働基準所調査

ウナギ上りどころか奔馬のような物價の高騰に、各方面の賃金も要求〳〵で引上げられているが、それでもなお預金の底は日毎に輕くなり、最低水準生活の維持さえ困難とかこたられている今日いつたい各方面の俸給や各種勞働者の賃金はどの位になつているのかとの程平勞働基準監督所の調査にかゝる十月末現在の平均賃金をみると（單位圓）

◉勞務者（日給）とび職一五〇、大工一三〇、左官一三〇、石工一二〇、土工九五、人夫九〇

◉炭鑛勞務者坑内夫一二七、坑外夫六六

◉職員（月俸）田邊鐵工二、〇〇〇 日本製作二、一〇〇 吳羽化學一、四〇〇 平丸通二、四〇〇 日本水素二、七〇〇 石炭關係團体三、〇〇〇

以上のとおりとなつていて、炭鑛關係が職員、勞務者とも平均によくなつている、そのほかも賃金だけをみると、なか〳〵よくなつているが、然し現在の物價其の他から比較すると食へないとの嘆きも無理からぬものがあることがうなづける

野黨の獅子吼
湯本、四倉兩町でも開催

自由黨では前内務大臣植原悅二郎代議士を迎へ平市で氣勢を擧げることになつたが、平市來訪を機會に湯本、四倉兩町でも大演說會を開くことになつた

湯本町
十六日午後二時
舊小學校舍

四倉町
十六日午後三時
四倉小學校

なお辯士は植原前内相の外副幹事長廣川弘憚法學博士角田幸吉、庄司一郎、關内正一の四代議士も臨席する

工事促進の委員も決る

小名濱町では十三日午後一時から第三校講堂に同校建築促進い員會を開催、町側からは樋口町長鈴木學務主任その他及び小野務平同校建築い員長立花經濟い員長等三十名出席、樋口町長の學校建築が遲れている理由その他の說明があり懇談の後促進い員長の推薦に移り、い員長に渡邊繁氏（住吉）副い員長に小松益治（野田）を推した

關内代議士水產委員
湯本、石川線國營バスでも活躍

平市出身代議士關内正一氏は國會の商業委員として活躍しているが去る八日附で水產委員に推薦選任された、地方出身では民主黨の小澤代議士が水產委員に選任されているが郷土から關内代議士を新たに加へられたことは、石城七濱漁業地の大きい强みであつて、今後の活動に期待かけられているなお關内代議士は過般の國土委員會で小名濱商港修築に關する請願の說明に當り、小名濱港の修築を有利に導いたが、去る八日と十一日の運輸及び交通委員會に於て湯本―石川線の國營バス運轉開始促進に關する請願（第百六十五號）の說明に當つたことが官報に登載されているので、關内代議士の國會に於ける活躍ぶりに地方民は大いに意を强めている

學童を通じて―節電方を宣傳
教組の協力を求めて

東北配電平營業所では現在電休日を平、小名濱地區は毎週木曜、植田地區は土曜として、例の豫告停電も實施しないでいるが、十一月に入つてからの使用量は毎日割當電力量の一五パーセント以上の超過を示していて農業用の脫穀調製等に本年いつぱいは相當の電力量を送らねばならぬ現在甚だ憂慮すべき狀態にあるので、農業會市町村等の協力を求め盗電監視員を結成防止に努めているが、今度更に教員組合郡市支部の協力を得て學童生徒から節電の標語ポスターを募る一面學校を通じ各家庭の協力を要請するほか各面に向つて節電運動により一層積極的に乘出すことに決つた、なお脫穀用に晝夜送電ある向も不用電燈はつけず電熱器の使用等も注意して全面的にこの電力危機突破に當つてほしいと同營業所では望んでいる

價格表示
嚴命
情實販賣も法度

平署では四日午後一時から第二會議室に鮮魚青果物及びそれ等配給業者二百名を集めて最近の物資の不圓滑と矛盾から大分亂脈に流

味噌醬油類値下げ

物價廳ではみそ醬油等の生活物資の値上げを發表したが、醬油は十二月一日から一合現行の二十五錢下げの一圓九十二錢は、みそは百匁五錢下げの三圓十五錢、塩いわし百匁四十錢下げの六圓六十錢、鹽藏イカ八十錢下げの十二圓二十錢と改訂されることになつた

小名第三校
着工式

十六日に擧行

小名濱町では第三校建築も請負が決定を見たので十六日着工式を擧行する事に決した、明春月末日までに完成の豫定である

郡下の水道計畫
湯本は下水道も實施

傳染病の豫防の徹底と國民衞生の完璧は先づ水道からと、國の指示のもとに各地ともこれが完備改善を進めているが、郡下主要町村でもそれ〳〵諸計劃を急いでいるが、既に本年度計劃として實施に決定されているものは湯本、小名濱、四倉の三ヶ町だが、その內容及び豫算をみると次のとおりでいづれも相當大掛りのものである

◉小名濱町 濾過地一箇所增設 一九八萬圓

◉四倉町 貯水地新設及び擴張 一〇〇萬圓

◉湯本町 沈澱池一箇所增設、及濾過池一箇所增設 四五萬圓

なおこれらは都市計劃を基盤としているが、湯本町ではこのほか三百九十五萬圓を投じて全町の下水道新設も併せて計劃されている

みどり會の挿花展

平市みどり華道會では十六、七の兩日市公會堂日本間に挿花展を催す

小名濱臨鐵
賃上げ要求

小名濱臨鐵勞組では賃金スライド三月を基準として七十パーセントの引上げ團体協約の修正結婚資金六千圓、再こん三千圓その他三項の要求を提出目下會社側折衝中

抗木生產
表彰

郡下の被表彰者

地方事務所では坑木夏山增產功勞者と次の諸氏を近く表彰するが、日取りは未定

◉生產者芹澤政資（平）星初太郎（錦）本郷康夫（山田）五十嵐金彌（植田）小川森林組合（小川）佐藤武久（内郷）◉輸送業者遠藤一郎（植田）佐藤光明（小川）佐藤實（同）酒井留次（同）◉立木提供者酒井政雄（入遠野）

炭鑛演劇文協が
文化學校開設
◀盛澤山な計劃▶

正しい演劇を通じヤマの民主化をはかろうと『東北地方炭鑛演劇文化協會が設立されることになり一日宮越忠一氏等十二名が集り福島民報平支社に協議會を開いた結果、近く各ヤマに呼びかけ結成大會を開くことゝなつたその構想は文藝、美術、音樂、演技の各部を置き事業としては文化學校を開設、專ら劇團の公開か脚本推薦、圖書購讀斡旋、その他をなすとゝもに民主々義團とも提携し毎年一回演劇コンクールを開くほか作品發表會も隨時行い又機關紙炭とう演劇をも發刊しようとの大きなものである、なお結成準備委員も左の如く決つた

宮越忠一（日とう）齋藤寬（古河）半谷勝男（三松）井出榮三（全）長澤宏（日曹福島）富田博次郎（全）遠藤丈夫（商工局）木村一章（常ばん）濱崎廣太郎（こう業會）島貫幸夫（商工局）宮森芳男（石炭廳）

湯本高女
音樂大會

縣立湯本高等女學校では十六日午前九時から同校講堂で秋季音樂會を開催

いわき寸言

◉來月からミソショウユ類値下げはよい、だが二十錢や五錢の値下げではネエー

◉民主黨もゴタツタとのところ政界の野分とござい、だが果してアトは秋晴となるかナ

◉米の値上げでまた食へず賃金値上げに越冬資金の要求續出、誰の罪でもありませんとはいへ片山さんの罪かネ

歷史と信用が語る！
待望の新製品
山葉ピアノ
ヤマハ・オルガン
ササキ・ホンヤ
福島縣特約店
角忠書店
本通一丁目
電話一八五

野黨の聲を聽け

日本自由黨平支部大會及び自由黨の大演說を左記に依つて開催致します現政府の非政を衝く野黨の聲を聽くため多數の來會を歡迎します

日時 十六日午後五時
自由黨平支部結成大會
同六時より自由黨大演說會

場所 平市第三小學校講堂

辯士
前内務大臣 植原悅二郎
法學博士 角田幸吉代議士
宮城出身 庄司一郎代議士
副幹事長 廣川弘憚代議士
自由黨縣聯合支部長
代議士 關内正一

十六日午後二時
湯本町舊小學校舍

十六日午後三時
四倉町小學校講堂

▲十一月十五日晝夜 ◙ 皆樣の民衆劇場

カナリヤ舞踊隊
樂團カナリヤ
一行二十四名
司會漫談座長 牧清一
フラダンス カナリヤシスターズ
キングレコード 高橋文子
ハワイ出身歌手 河野ジョー
日劇出身 商井久利
タップダンス 浦佐俊一

總出演
ヴァラエティ
南國の夢
一行二十四名

劇團カナリヤ座
片山力作
與太者譚 四景
中江良夫作
輕演劇
花と咲く人々

本社主催装飾窓競技大會入賞商店

（順不調）

運動具と
化粧品雜貨の店
山家メリヤス店
平市二丁目 電六〇五

化粧品と
趣味・雜貨の店
エンドー洋品店
平市三丁目 電一〇二八

いつもキレイで買よい
小間物化粧品店
只今新型ライター
シガレットケース 特賣中
平驛前の
いつみや
電三四八

化粧品と
美容室
メイ化粧品店
平市田町

全日本讀書週間 十一月十七日ヨリ二十三日マデ
新刊書と雜誌の店
マルトモ書店
平市四丁目 電一二四、一三四、一八五

七五三のお祝ひに……
冬物揃へましたどうぞ……
なかや洋品店
平市三丁目 電一〇三

靴修繕は當店へ
附屬品一式取揃へてあります
深谷靴店
平市驛前通り

レコード・樂器
音樂の店
天地堂
平市三丁目

紙と文房具
（昭和二十三年度カレンダー各種入荷）
坂本紙店
平市一丁目電一八

皆樣の
大黑屋
平市三丁目電七八三

ー◇映畫紹介◇ー

イムUDIF特作

背信

15日ー17日世界館

ピエールウオルク原作
アンリ、ドゴアン監督
L、H、ピユーレル撮影のフランスUDIF作品ー

◇キャスト

リデイア　ダニエル、ダリユウ
少年審判所の裁判長　ジヤン、ウオルムス
ルネ　スヴエトラナ、ピトエフ
下房の女房　テレーズ、ドルニイ
エレーヌ、フエルネエ
ヴアランテイヌ、テシエ
ジヤツク、フエルネエ　シヤルル、ヴアネル
アリス　イヴエツト、ルボン
ピエール、モンタネ
ピエール、マンガン
ポール　ジルベール、ジルル

◇ストオリイ

貧しい祖母からの仕送りを受けて法科大學に通つていた美しい少女リデイアは、唯一のたのしみとする祖母に死なれてはたと生きる道を絶たれた、彼女は懸命に自分の生きる道を求めて街をさまよひ歩いた、然し折角探し當た仕事も美貌が思はぬ障りとなつて反つて不幸な結果を招くあり樣であつた。こんな時彼女の學友であるアリスが古物商である父親の手に入れて來たアルバムを示した。それは一無名女優が愛人と別れ愛兒と共に居た日の記錄をとどめてあるものでその女優も愛兒も今はこの世になかつた。そしてこの女優を捨て他の女と結こんしている相手の男はアリスの年かんを調べた結果によるとヴエルサイユに居る歴史家のフエルネエその人であつた。アリスはこれを利用してフエルネエの許を訪ねて見よと、リデイアにすゝめるのであつた。初めアリスの空想から出たこの恐るべき計畫を受けつけなかつたが遂に生きられぬ儘、フエルネエの許に出かけた。そして彼女はフエルネエに捨てた女優の子供であると思ひこませてしまつた。そしてフエルネエの娘としてヴエルサイユの豐かな彼の邸に引きとられたリデイアは絶えず背信の恐ふに小さな胸を痛めながらも法律の勉強を續けていた。然しフエルネエの妻は彼女に疑ひの眼を向けていた彼女は或る日リデイアの友アリスを訪ねて疑惑を以ていた自分の眼が間違ひでないことを知つた。その頃リデイアは法律の勉強が實を結んで始めて辯護士として出延する機會が得られた。そして彼女が辯護した娘は自分が起した罪と同じような罪をおかした哀れなルネルクレルクであつた。リデイアは聲涙下る熱辯、己れの罪の告白を兼ねて辯護した。法廷は感動に沸いて少女の罪は許された。リデイアの辯護振りを傍聽に來ていたフエルネエ夫人の心も次第に和まつたそしてリデイアを許す氣持に變つた。ヴエルサイユの邸を去ろうとして荷造りしていたリデイアは優しいフエルネエ夫人の手によつて彼女の成功を祝す部屋に導かれた。そこには一切を知らぬフエルネエと秘書のピエールがシヤンパンを抜いて彼女の成功を祝しあつているのであつた。

暫定出炭目標決る

ー◇常磐炭田第三、四半期分◇ー

九十万五千トン

仙台商工局では第三、四半期政府暫定出炭計劃に基きこの程漸く暫定目標を次のように決定、各礦に通達した、既に下期出炭に突入し一ケ月余たつているが、今期の合計は九十萬五千トンで十月二十八萬五千五百トン、十一月三十萬二千トン十二月三十一萬七千五百トンで十一、二月の各礦別目標は左の通り（カツコ内十二月分單位トン）

◎常磐一二、七八八（一二、四六二）◎小田六、五〇〇（六、六〇〇）◎隅田川四、三〇〇（四、五〇〇）◎戸部一、八五〇（一、〇〇〇）◎矢郷二、三〇〇）四、五〇〇）◎壽二、一五〇（二、二〇〇）◎上山田四、五〇〇（四、八〇〇）◎日曹赤井六、七〇〇（七、〇〇〇）◎日曹福島一、九五〇（二、二〇〇）◎小野田二、九〇〇（三、一〇〇）◎三松一、六〇〇（一、七〇〇）◎黒田二、九五〇（三二四八）◎三和一、八〇〇（一、九五〇）◎その他九、七三七（三四、〇八六）◎計一九一、一二五（二〇〇、六四〇）

出超は中堅三礦

平署管内十月出炭

125、251トン

常磐炭田の十月中の出炭は目下東部石炭鑛業會で調査中だがうち縣下各炭鑛分の中平署管内分だけは十三萬四千六百五十一トンに對し實績は十二萬五千二百百五十一トンで九千四百二十九トンの赤字である、然しこの中には浪花、大野、東新、不動澤の三礦が除かれているが、以上の數字は赤字とはいえ本年最高の數字で、赤字の原因中には例の常磐磐崎鑛のガス爆發による減炭等が大きく響いている、従つて赤字といえさして悲觀すべきものでないとみられている、各礦別は次のとおりだが、出超の炭礦は壽、戸部及び日曹福島の三礦である（カツコ内は目標）

常磐七二、四〇〇（七五、五〇〇）古河好間二四、四〇〇（二五、二五〇）小田五、七一五（六、四〇〇）隅田川四、〇〇五（四、一〇〇）戸部一、九〇一（一、八五〇）矢郷四、五五（二、一五〇）壽二、四六〇（二、一五〇）日曹赤井五、四七三（六、三〇〇）日曹福島一、八〇〇（一、八五〇）小野田二、八三〇（二、八〇〇）磐城神奈川七八三（九五〇）綴伊東一〇〇（一七〇）綴小宮四五（五〇）笹島不動澤八一（四六〇）日東宮二七四（三九〇）日高見綴三五〇（四四〇）上好間六五九（八五〇）成澤三六四（九五〇）品川赤井三五七（六〇〇）赤井共榮園一九（四二〇）大和一七〇（二五〇）古瀧一〇（四〇〇）境田一三〇（三〇〇）

開放

投書を歡迎
要望批判結構
紙上とく名可

平驛長さんへ

▲私は北白銀に住む一主婦です、種々の配給や其の他の用件でその度白銀の踏切りを通らねばなりませんが、あの踏切りでは大概相當の時間を浪費致します棧橋を渡ればいゝとお考へになるかも知れませんが、荷物を持つて子供を背負つて通る事が普通である、私達主婦には仲々容易ではないので少し位ならと立止つて待つ樣になります、勿論老人や馬車は棧橋は利用出來ません▲踏切の開閉に關する規則はどうなつているのかは存じませんが、踏切の勤務者の不親切さにはふんがいさせられる事屢々です。中にはとても親切で積極的に一寸でも早く安全に通過さしてやろうと努力して下さる方もないではありませんが大部分はあの部屋の中で煙草を吸つたり、雜談したり、若い女の子を入れてキヤツ〳〵と騒いだり、甚だしい時は通行中の女をひやかしたり目にあまる行爲が屢々見受けられます。當一鐵道員が踏切員勤務室に數人雜談して居るのをよく見かけますが職場に勤務中無用の者を立入らせてよいものでせうか▲そして勤務中でない者でも鐵道員は遮斷中悠々と往來して居ります。▲踏切勤務員の一寸した不熱心がどの位多くの時間を浪費する事でせう、ひいては再建途上の祖國の爲それは〳〵大きな時間の空費を强ひられる事になるのです。それは通行者に三〇秒の空費時間として計算されても驚くべき數字になることがお解りになると思ひます。紙上をお借りして私のお願ひが無理かどうか廣く御批評を載き、併せて實狀をよく御調査の上もう少し親切心と積極性をもつて服務して下さる樣お願ひ致す次第で御座います（北白銀町かつえ）

平女生の稅務研究

新教育のポイントとして一般社會の研究認識が叫ばれているが平女二年の生徒七名は十三日午後課外を利用平稅務署を訪れ留守の所長にかはつた佐藤庶務課長に「どんな物に稅金をかけるか」「稅金はどんな方法で納めるか」「大化の改新の稅制と現在の稅制の相異はどうか」等について質問、專門的な研究に佐藤課長をおどろかせたが同署でも今後も此の種の見學には繁忙の時間を割いて指導すると意氣込んでいる

樂園カナリヤ

15日民劇で

市内紺屋町民衆劇場では十五日晝夜二回キングレコードの高橋文子、ハワイ出身歌手河野ジョー、日劇出身青井久利、タップの浦佐俊一等を加えた牧瀬一の率いるカナリヤ舞踊隊樂園カナリヤの公演を催す

買受專門
衣類、洋服、貴金屬
書畫時計高級家具その他
平市大町通り
鈴木商會

久
平市五丁目
釜屋商店

金庫
我日本ハ民主々義ノ世界トナツタ
自己ノ生命財産ハ自カラ守レ
最近平方面納入先キ一覽ヲ示シ以テ其優越セル眞價ヲ認メラレン事ヲ工場設備完成ニ付キ御注文品ハ迅速納入致シマス 報參上

第一號
炭鑛物資施設組合東部支部殿
關本炭鑛株式會社殿
常磐坑木株式會社殿
日本石炭株式會社平出張所殿
小名濱港灣運送株式會社殿
勿來商事有限會社殿
株式會社田邊製作所殿
株式會社平製作所殿

第三號
三阪農業會殿
廣野農業會殿
國際電球株式會社殿
石城郡馬匹組合殿
平市農業會殿
福島縣坑木林産組合殿
平地區燃料配給林産組合殿

第五號
澤渡三阪森林組合殿
株式會社いわき民報社殿
磐城官材協會殿
平商工會議所殿
第一通信工業株式會社殿
丸T硝子製作所殿

◇東京都鄕土關係◇
第一號三個　第三號三個　小澤專七郎殿
第一號一個　第五號三個　伊藤パン合資會社殿
第三號一個　第五號一個　長田半三郎殿
日本銀行東京都廳指定
橋本　阿野　後藤　金庫製作所

東北代行　萩敏行
平營業所　平市田町二五　馬目酒店
東京營業所　台東區淺草藏前三ノ十二
疎開自宅　平市才槌小路二五

盜難警報機
何ルノ家庭デモ本機ヲ備ヘラレタシ如何ニ强惡非道ナ泥棒デモ本機獨特ノ電氣仕掛ケデ鳴ル非常響音裝置ニ引カヽツテハ如何トモ手ノ盡シヨウハアリマセン
本機要點ハ感電ヤ漏電シナイヤウ製作シテアリマス素人ノ方デモ至極簡單ニ配付使用自由デス
災厄後其筋ヘ屆出テモ泥棒ニ追錢コロバヌ先ノ杖ヲ備ヘヨウ
平市田町一　マサゴヤ金物部
◇目下實物宣傳中◇

節電休日の工場の動力に!!
農事機械化の動力に!!
ヤンマーヂーゼルエンヂン
▲三馬力以上百三十馬力迄受注即納
▲四馬力で一重油只の三升で運轉出來る過去拾年の間當地三百台の需要家に依つて證明された最優秀機
山岡内燃株式會社
福島縣代理店　常磐ヤンマー製作所　平市新川町六（電九八四・八一九）
荒木發動機工作所　平市五丁目（電七六七）

ベアリングと工具
電動裝置及農器具用
六二〇〇、六三〇〇、二九〇〇、各番台
二五　三五　四五
一吋ヨリ二吋半マデ
ベルト、レーシング
在庫豐富乞御照會
平興業社　平市南町六七

雜貨卸商
坂場商會　坂場正
雜貨商品の御注文に應じます
平市南町六七

骨董　貴金屬　寶石　和洋服　高價買入れ
◇和洋服特に若向高價御報參上
平市南町平館西隣
中央會館（電話九一五）

世界的名演出家のエルンストルヴツチが製作演出する
諷刺と諧謔の輕妙のタツチ
ゲーリー、クーパー、クローデツト、コルベール主演のパラマウント特作
青髯八人目の妻
▲十八日より待望の登場
只今上映中（十一日ー十七日）
ヒロイン多喜子を繞つて興味は後篇へ
絶讃を浴びて登場ー
誰か夢なき【後篇】
近日上映
サムウツド問題作
我等の町
音樂映畫の最高篇
未完成交響樂
東寶、第二イワキ
電話綴十二番